

調査件名

試験年月日

試料番号 (深さ)

21-1 (5.00~5.90m)

試験者

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0523-2000 土の圧密非排水 (Cub) 三軸圧縮試験				
試料の状態 ¹⁾		乱さない		土粒子の密度 ρ_s ³⁾ g/cm ³	2.812	
供試体の作製 ²⁾		トリミング法			⁴⁾	
土質名称		凝灰質粘土			⁴⁾	
供試体 No.		1	2	3	4	
初期状態	直径 cm	3.49	3.50	3.50	3.49	
	平均直径 D_i cm	3.48	3.50	3.50	3.49	
	高さ cm	3.46	3.50	3.49	3.49	
	平均高さ H_i cm	3.48	3.50	3.50	3.49	
	体積 V_i cm ³	8.00	7.99	8.00	8.00	
	含水比 w_i %	8.00	7.99	8.00	8.00	
	質量 m_i g	8.00	7.99	8.00	8.00	
	湿潤密度 ρ_{ti} ³⁾ g/cm ³	76.09	76.87	76.97	76.53	
	乾燥密度 ρ_{di} ³⁾ g/cm ³	98.5	96.9	99.7	100.7	
	間隙比 e_c ³⁾	110.93	110.50	110.96	111.17	
	飽和度 S_{ri} ³⁾ %	1.458	1.437	1.442	1.453	
	相対密度 D_{rc} ³⁾ %	0.735	0.730	0.722	0.724	
	設置・飽和過程	軸変位量の測定方法	外部変位計によって測定			
設置時の軸変位量 cm		0	0	0	0	
飽和過程の軸変位量 cm		0	0	0	0	
軸変位量 ΔH_i ⁵⁾ cm		0	0	0	0	
体積変化量の測定方法		計算による				
設置時の体積変化量 cm ³		0	0	0	0	
飽和過程の体積変化量 cm ³		0	0	0	0	
体積変化量 ΔV_i ⁵⁾ cm ³		0	0	0	0	
圧密前 (試験前)		高さ H_0 cm	8.000	7.990	8.000	8.000
		直径 D_0 cm	3.480	3.500	3.500	3.490
	体積 V_0 cm ³	76.09	76.87	76.97	76.53	
	乾燥密度 ρ_{d0} ³⁾ g/cm ³	0.735	0.730	0.722	0.724	
	間隙比 e_0 ³⁾	2.828	2.852	2.896	2.885	
	相対密度 D_{r0} ³⁾					
炉乾燥後	容器 No.	1	2	3	4	
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g					
	容器質量 g					
	炉乾燥質量 m_s g	55.89	56.12	55.56	55.39	

特記事項

- 1) 試料の採取方法、試料の状態 (塊状、凍結、ときほぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法、負圧法の種別、凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界、塑性限界、砂質土の場合は最小乾燥密度、最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

[1kN/m² ≒ 0.0102 kgf/cm²]

調査件名

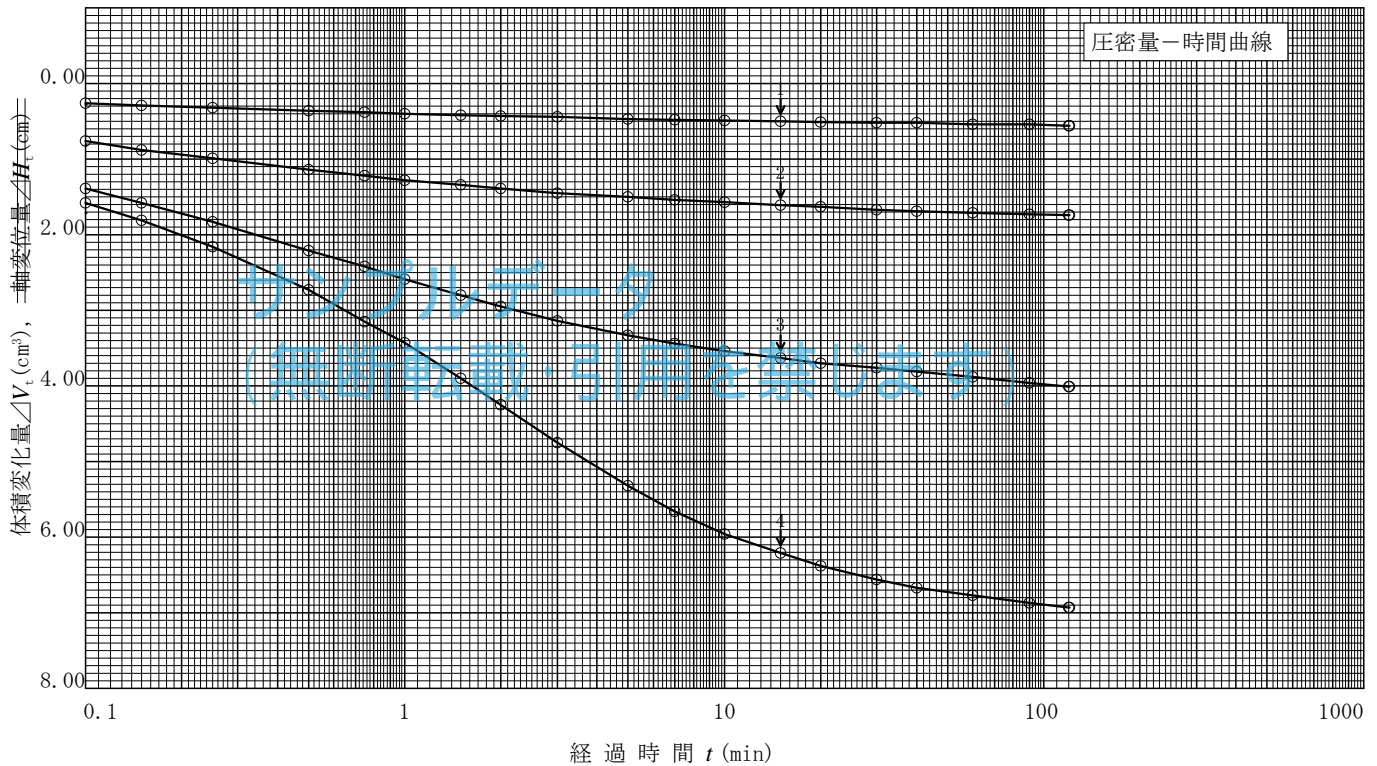
試験年月日

試料番号 (深さ)

21-1 (5.00~5.90m)

試験者

試料の状態 ¹⁾		乱さない	液性限界 $W_L\%$ ⁴⁾	119.9	
供試体の作製方法 ²⁾		トリミング法	塑性限界 $W_P\%$ ⁴⁾	57.8	
土質名称		凝灰質粘土	圧密中の排水方法	側方・両端面ペーパードレーン	
土粒子の密度 ρ_s ³⁾ g/cm ³		2.812			
供試体 No.		1	2	3	4
試験条件	セル圧 σ_c kN/m ²	125.0	150.0	200.0	300.0
	背圧 u_b kN/m ²	100.0	100.0	100.0	100.0
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	25.0	50.0	100.0	200.0
圧密前	高さ H_0 cm	8.00	7.99	8.00	8.00
	直径 D_0 cm	3.48	3.50	3.50	3.49
	間隙比 e_0 ³⁾	2.828	2.852	2.896	2.885
圧密後	圧密時間 t_c min	120	120	120	120
	体積変化量 ΔV_c cm ³	0.56	1.74	4.01	6.93
	軸変位量 ΔH_c cm	0.013	0.029	0.061	0.119
	体積 V_c cm ³	75.53	75.13	72.96	69.60
	高さ H_c cm	7.987	7.961	7.939	7.881
	炉乾燥質量 m_s g	55.89	56.12	55.56	55.39
	乾燥密度 ρ_{dc} g/cm ³	0.740	0.747	0.762	0.796
	間隙比 e_c ³⁾	2.800	2.765	2.693	2.533
間隙圧係数 B	等方応力増加量 $\Delta\sigma$ kN/m ²	20.00	20.00	20.00	20.00
	間隙水圧増加量 Δu kN/m ²	19.17	19.11	19.34	19.08
	測定に要した時間 min	0.5	0.5	0.5	0.5
B 値	0.958	0.955	0.967	0.953	



特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。

[1kN/m² ≒ 0.102kgf/cm²]

調査件名

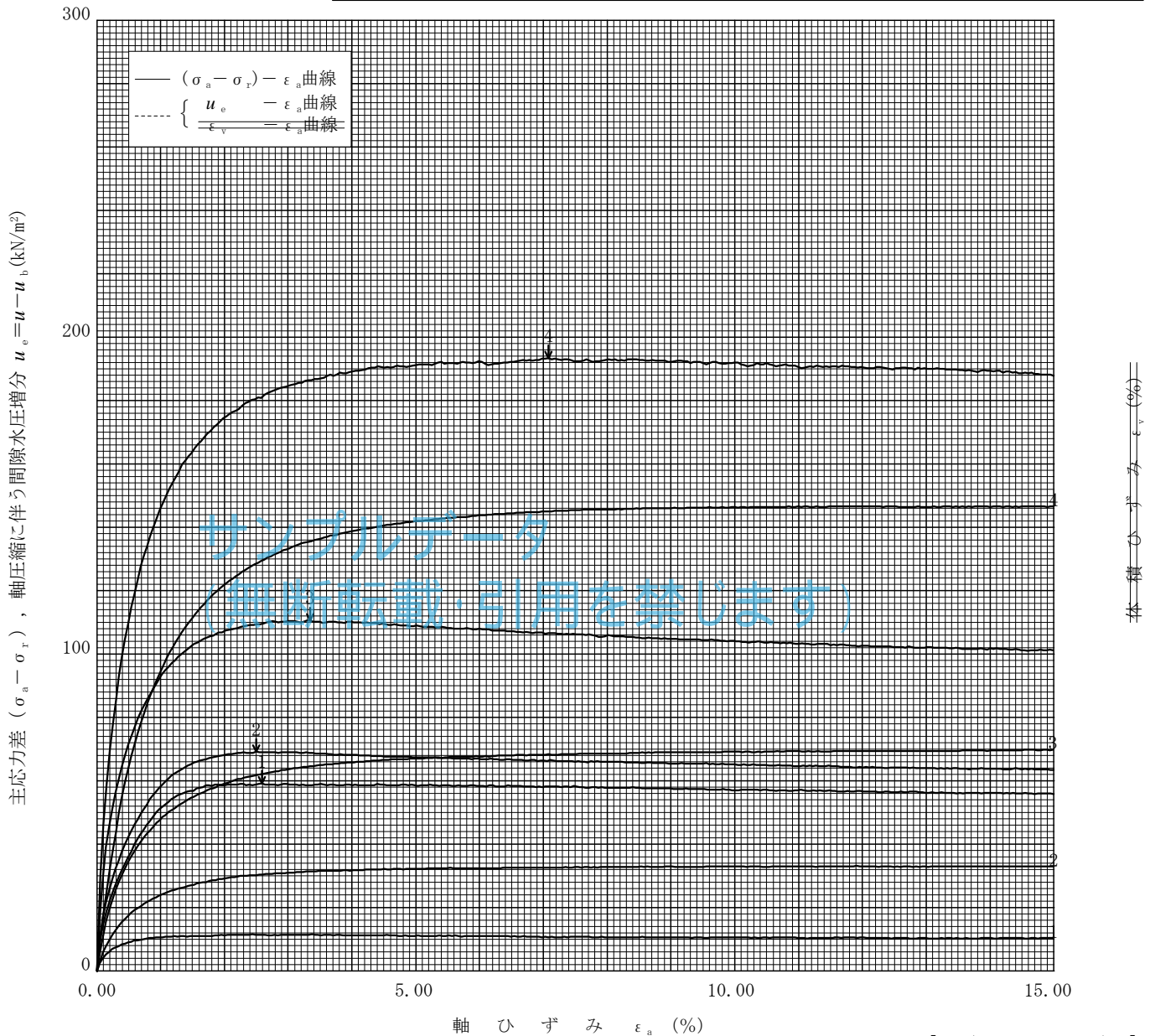
試験年月日

試料番号 (深さ)

21-1 (5.00~5.90m)

試験者

土質名称	凝灰質粘土	供試体 No.	1	2	3	4	
液性限界 W_L (%) ¹⁾	119.9	セル圧・圧密応力 kN/m^2	25.0	50.0	100.0	200.0	
塑性限界 W_P (%) ¹⁾	57.8	背圧 u_b kN/m^2	100.0	100.0	100.0	100.0	
ひずみ速度 %/min	0.05	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m^2	59.2	69.2	110.6	193.4	
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。	主応力差最大時	軸ひずみ ϵ_{af} %	2.59	2.50	3.34	7.08	
		CU	間隙水圧 u_f kN/m^2	111.4	130.3	164.7	245.2
			有効軸方向応力 σ'_{zf} kN/m^2	72.8	88.9	146.0	248.2
		CD	有効側方向応力 σ'_{zf} kN/m^2	13.6	19.7	35.3	54.8
体積ひずみ ϵ_{vf} %							
		間隙比 e_f					
暗褐色 浮石点在		供試体の破壊状況					



[1kN/m² ≒ 0.1012kgf/cm²]

調査件名

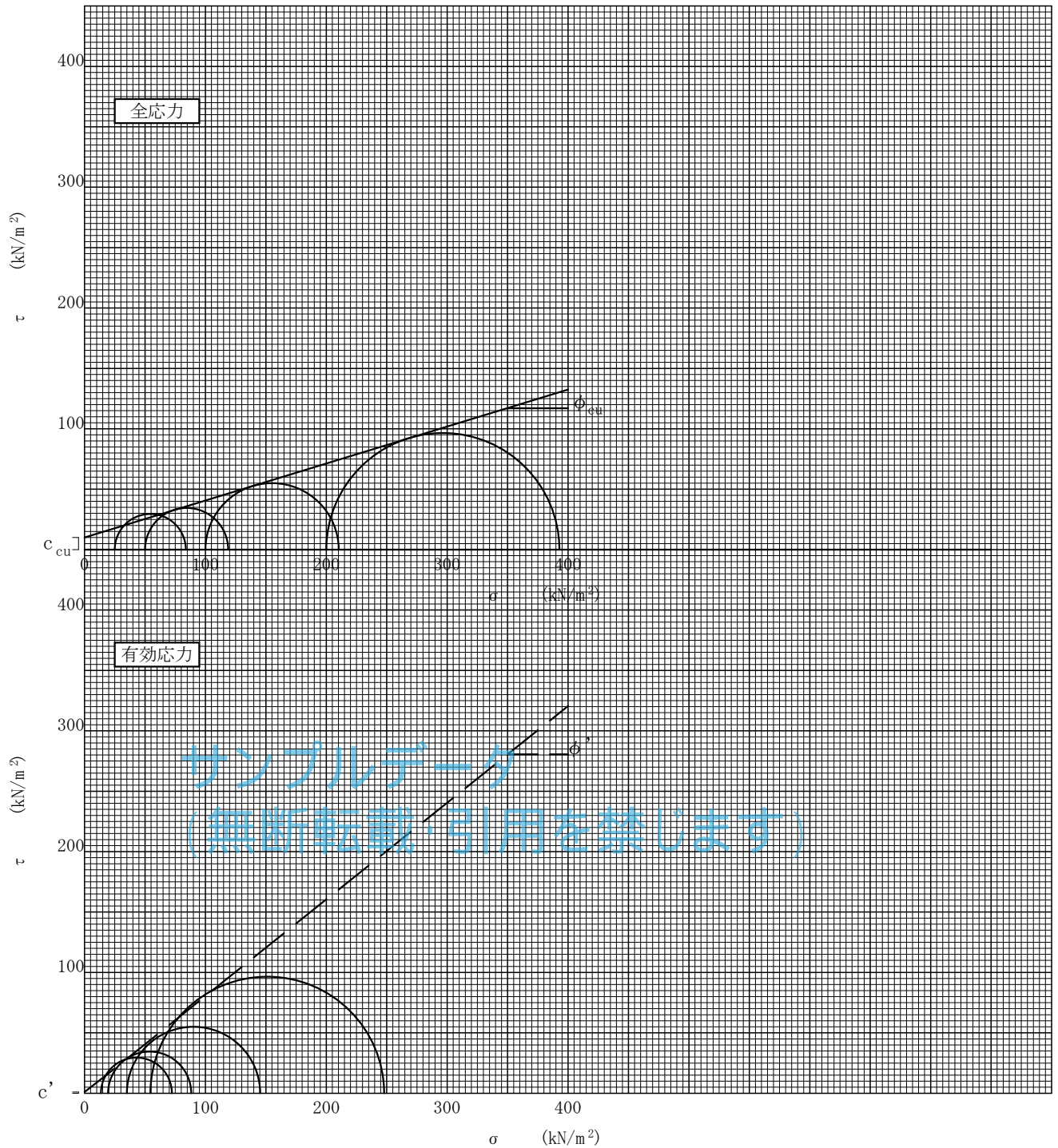
試験年月日

試料番号 (深さ)

21-1 (5.00~5.90m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_{cu} kN/m ²	ϕ_{cu} °	$\tan \phi_{cu}$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域	10.3	17.02	0.306	1.4	38.63
過 圧 密 領 域					



特記事項

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]

調査件名

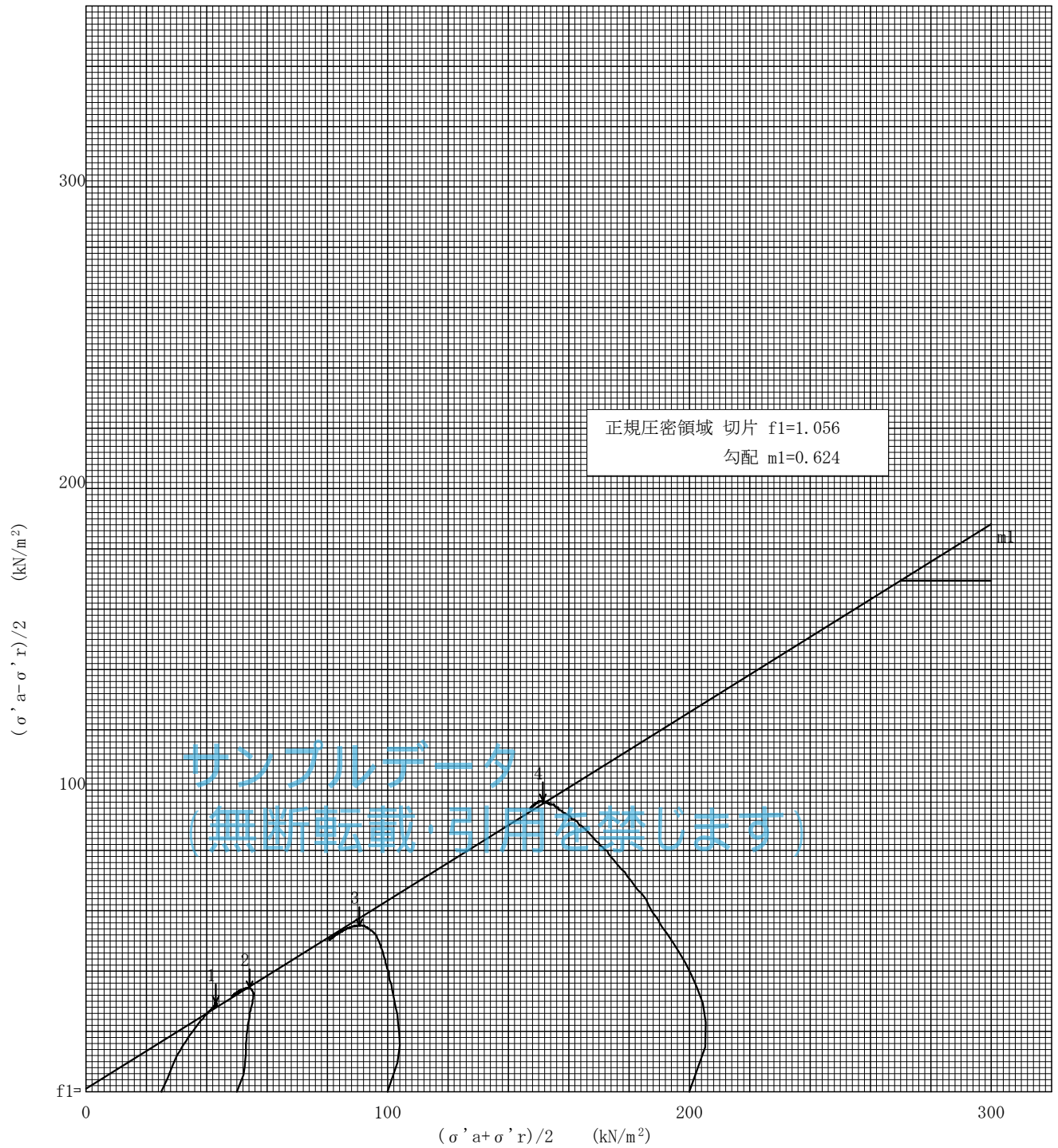
試験年月日

試料番号 (深さ)

21-1 (5.00~5.90m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_{cu} kN/m ²	ϕ_{cu} °	$\tan \phi_{cu}$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域				1.4	38.63
過 圧 密 領 域					



特記事項

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]